

添付書類

平成22年度
(第9期事業年度)

監 事 の 意 見

自動車検査独立行政法人

監事意見書

平成23年6月27日

自動車検査独立行政法人

理事長 竹内 浄 殿

自動車検査独立行政法人

監事 本澤純一 
監事 神保正人 

独立行政法人通則法第19条第4項及び第38条第2項の規定に基づき、自動車検査独立行政法人の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年度の財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、利益の処分に関する書類（案）及び附属明細書をいう。）、事業報告書及び決算報告書について監査を実施いたしました。

この監査の結果について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

監事は、理事会その他重要な会議に出席するとともに、重要な決裁書類等を閲覧いたしました。更に、理事長等から業務運営の基本方針等を確認し、各部門責任者からは業務処理の状況を聴取するとともに書面、証憑書類の査閲等によりこれを確かめたほか、本部及び主要な検査部・事務所において財産の状況を調査いたしました。

また、会計監査人から監査計画・結果の報告及び説明を受け、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 財務諸表（利益の処分に関する書類（案）を除く。）は、独立行政法人会計基準並びに一般に公正妥当と認められる会計基準に準拠して作成されており、財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 利益の処分に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 決算報告書は、予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認めます。
- (5) 財務諸表、事業報告書及び決算報告書に重要な影響を与える不正及び誤謬並びに違法行為は認められません。
- (6) 会計監査人新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上